

一人一人の行動が大切な命を守る

事故をなくして安全なまちに

高齢者による交通事故が大きく取り上げられる中、
 事故の検証などにより、その原因や傾向が明らかとなってきました。
 高齢者の事故を減らすさまざまな取り組みが行われ、
 免許返納者の生活を支える社会づくりも議論されています。
 自分の運転能力を再確認して、事故のない安全なまちにしましょう。

安全に長く 車に乗るために

私たちは運転免許を取得してから、自分の運転能力について客観的に確認する機会がありませんでした。高齢者による事故を防ぐため、免許の更新時に高齢者を対象とした高齢者講習が始まり、認知機能検査や実車講習などが行われています。

運転能力を再確認する機会ができ、運転の癖や自己流の交通ルールを見直すことで、安全に車に乗り続けられるようになり

ました。

自動車の安全運転サポート技術も向上し、上手に利用すればより安全に運転することができ
 ます。自動ブレーキなどの機能を持つ車だけを運転できる、限定条件付きの免許の創設も検討されています。

不安を感じたら 返納という選択も

免許を返納するということはとても難しい選択です。車を手放すと、生活が成り立たないと考える人も多いでしょう。公共

交通機関の重要性が高まる中、市ではデマンド交通の導入や、コミュニティバスの見直しなど、高齢者の移動手段を確保する取り組みをしています。公共交通機関の活用は、車の維持費に比べて安くなる場合も多く、車を持たない人を経済的にも支えます。

不安を抱えながらの運転は、いつか事故を起こすかもしれません。というリスクを負っています。もし運転に不安を感じたら、免許の返納も選択肢の一つとして考えてみませんか。



教習所での実車講習



車がなくても大丈夫 暮らしを支えるさまざまなサービス

市では車を運転しなくなった人が、車がないことで生活に困らないよう、公共交通機関の充実を図っています。

身近な公共交通

現在市内では公共の交通機関として、民間が運営する鉄道や高速バス、路線バス、タクシーのほか、市が運営するコミュニティバスが運行しています。

市では公共交通機関をより利用しやすくするため、コミュニティバスの見直し、デマンド交通の導入を進めています。

コミュニティバスの見直し

コミュニティバスは多くの人を決まった時間に、決まった場所へ効率的に輸送することができます。市の中心部と地域を結ぶ交通機関として、移動のニーズが高い時間帯や

行き先に合わせたダイヤ設定、利用者の増加が見込める地域への運行ルートの変更を行い、4月1日から新たな内容で運行します。

デマンド交通の導入

バスが運行していない地域や、バス停まで歩くことが難しい人の交通手段を確保するため、4月1日からデマンド交通を導入します。

デマンド交通は乗り合い型のタクシーです。自宅からあらかじめ定められた市内の目的地まで運行し、きめ細かいニーズに対応します。

免許返納者に対する割引

民間の路線バスやタクシーは、運転経歴証明書を提示することで、運賃の割引を受けられます。コミュニティバスとデマンド交通は、4月1日から割引を始めます。

取材を終えて

皆さんは高齢運転者標識を知っていましたか。

このマークは高齢者が運転していることを、周囲の車などに知らせるためのものです。高齢ドライバーが車に設置することで、周囲はこの車が安全に通行できるように、配慮しなければならなくなるそうです。

経験豊富なベテランドライバーが、このようなマークを付けるのは面倒だと考える人もいるかもしれませんが、自分の安全を確保するという意味で、積極的に利用してほしいと思います。

そして少しでも運転に不安を感じたのなら、周囲や家族を思いやり、運転しない決断をする勇氣も大切です。

この配慮や思いやりという考え方は、高齢ドライバーに限らず交通安全を考える上で、一番大切なことだと思います。

交通ルールやマナーを守ることはもちろん、常に周囲に気を配り、優しさや思いやりを持って行動することが、交通事故のない、安全なまちづくりにつながるのではないのでしょうか。